

畦ヶ丸山行報告書

C1 上村拓

○日程

2014 年 11 月 8 日 (土)

○参加メンバー (敬称略 3 名)

C1 上村 M3 田中 M0 中武

○行程

05:20 新宿駅 05:31~07:00 新松田駅バス停 07:20~08:35 西丹沢自然教室 08:45~10:45 畦ヶ丸山頂
11:00~12:20 屏風岩山山頂~13:15 二本杉峠 13:30~14:05 権現山 14:20~16:08 浅瀬入口バス停

山行計画を立ててみないかと田中先輩から声をかけられたのが白馬の時だったか。この春上京してきた私にとって東京近郊は未知の世界、さてどうしたものかとヤマケイの十月号をパラパラ。組まれているのは紅葉特集。そこに出ていたのが丹沢だったと思う。調べてみると、丹沢の紅葉の見ごろは 11 月中。しかも丹沢山は百名山。これはいいと丹沢主脈を巡る計画を立てたが、ふと心に浮かぶ懸念。山小屋混むかな。登山道も人が多いだろうな。個人的には紅葉は静かに眺めるのが好みである。あんまりガヤガヤしたところには行きたくないということで、日帰りで行けそうで面白そうなルートを探し、畦ヶ丸、屏風岩山が選ばれたわけである。

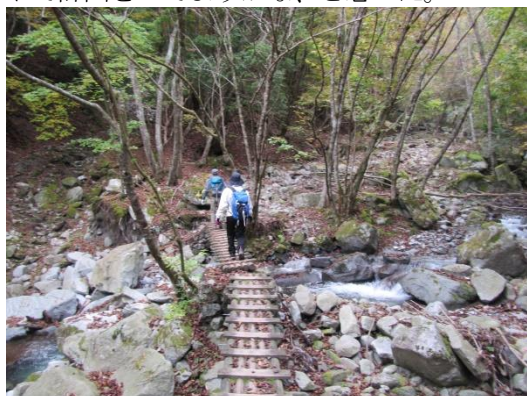
当日、天気はそんなによくない予報。雨の降りださぬことを願う。5 時 20 分、眠い目をこすって新宿駅に集合。久々に早起き。電車で揺られ 1 時間半、新松田駅に到着。周りには多くの高校生。その日丹沢湖では神奈川県高校駅伝大会が催されていたのだ。そこからバスで 1 時間と少し、バス停間の間隔はとても短い、西丹沢自然教室へ。周りには多くの登山客。その大半は檜洞丸のほうへ向かわれたのだろう。畦ヶ丸方面へ向かう人はほとんどいない。準備体操を済ませ、いざ出発。吊り橋を渡り、と、いきなり道が見つからない。辺りを見回すと標識を発見。先へ進む。なんだか既にかなりわかりにくい登山道。道が広いというか、どこへでも行けなくはないというか、標識が多くたっているのが救いであったが。小川を何回かまたぎつつ進んでゆく。しばらくして、下棚と本棚。どちらも登山道からはやや外れていて見えない。少し残念。だんだんと道は勾配を増してくる。それほどきついものでもないが。木々は程よく色づいていた。更に標高を上げていくとだんだん落ち葉が増えてきた。晩秋から初冬にかけての移り変わりか。季節の変わるの早いものだなあと思う。そして山頂。下は一面落葉。周りは裸の木立。寂寥感が漂う、は言い過ぎか。こういう山頂も嫌いではない。若干雨が当たった気がしたが、降り出してくることはなかった。山頂や、山頂までの道中の要所には木の机が置いてあった。気配りが行き届いている。15 分ほど休憩し大滝峠上まで下る。道は分かりやすいものの、方角がつかみにくい。若干不安になる。が、無事大滝峠上の分岐に到着。数名休憩している方々がいた。もう少し進むか休憩を入れるか考えていると、1 パーティーが下から到着。話し声を聞くに屏風岩山へ向かう様子。ということで休憩は大滝峠で入れることにして、とうとう破線ルートへ。確かに広い尾根ではあるが、まだ分かりやすい。まばらな立木の中、足元は落ち葉で真っ赤、空には薄雲のかかって涼しい風。こういう尾根は歩いていて気持ちがいい。しばらく進むがどこが大滝峠かわからない。仕方なく適当なところで休み、更に登っていくといつの間にか、屏風岩山に着いていた。屏風岩山山頂はこの上なく奥ゆかしい、控えめなものであった。写真を見てもらえばわかるであろう。本当にここは山頂なのか、といった感じ、一つの分岐のようにしか見えぬ。その山頂の看板?には三人笑いを禁じ得なかった。少し後ろ髪をひかれつつも、山頂を後にして二本杉峠へ。ようやく道はバリエーションルートの感を呈してきた。ロープの張られた場所など少し危ないかもしれないところを通過しながら下っていく。時折空が明るくなってくることも、意外に天気は持ちそうである。最後は斜面を巻いてゆくバンドを通過して、峠に着く。この調子だと予定通り権現山を回れそうである。権現山までは本日より一番きつい登り。せっかちな自分はいっている道が薄いので直登しようとしてしまう。何とか踏み跡を辿ろうと道を探しつつ、ぐいぐい登っていく。35 分で権現山へ。思った通り早いペースになった。負担かけてしまったなと反省。明るく静かでよい山頂。近くの看板にはこの先初心者不向きと文字。少しビビる。ここからが本日のクライマックスである。

地形図を見ても違う尾根に入ってしまったような気がする。どうしてこんなことを書くのかと言えば実際迷ったからなのだが。とにかく権現山を出て、ところどころにある目印を確認しながら進んでいく。下り始めはまだ分かりやすかった。時々道を外しそうになりながらも広めの尾根を抜け、右に伸びる尾根へと抜けていく。と、誰かの声が聞こえる。他の登山客がいるのかな、でも見えないな、なんてことを考えながら進む。しばらくしてかなり急な坂。下の方に広い場所。そこを目指して下りていく。が、結構急で、足元も柔らかい。一抹の不安を抱えつつ下るとなんとまあ先に伸びていくはずの道がない。辺りに目印も見当たらない。あわれ、我々（というか自分）は道に迷ってしまったのである。取りあえず地図と照らし合わせて多分左に見える尾根だろうと行ってみる。がやっぱり違う様子。もう一つ向こうの尾根か、とも考えたりしつつも一旦確実なところまで戻り、道を探してゆく。左に寄りすぎたのかと、右の方へ向かう。と、遠方にテープが。そこからゆっくり前進していくが、また途中で途切れる。自分は右手、田中先輩が左手を探していると、先輩がコースを発見。ようやくコース復帰。さらっと書いたが30分ほどロス。ルートファインディングをしていただいた田中先輩と文句も言わずついてきてくださった中武さんに感謝。さて、そこからは迷うことなく進んでいくことができた。しばらく行くと鹿対策の柵が出現。それに沿って進んでいく。そして最後の九十九折。権現山までまいていたものの、ほぼ予定通りの時間に浅瀬入口へ下山。お二人を無事に下ろすことができてよかった。

今回は初めての山行企画ということでなかなか大変だった。コース自体はとても面白いものだったし、狙い通り大滝峠上より先は一人も他の登山者と会うことはなかった。が、やっぱり道に迷うのはよろしくない。もっと地点確認と読図の能力を高めたいと思う今日この頃である。まあ今回の道迷いの一因には、あの謎の声、もとい駅伝の声（聞こえていた声は駅伝のものだった）のほうにふらふら行ってしまったこともありそうだが。いや、言い訳はよくないな。

天気が崩れなくて本当に良かった。お二人には随分と迷惑をおかけした。改めて謝罪と、着いてきてくださって、また所々（特に最後）助けてくださって感謝。天気が良かったのはお二人の行いの良さの賜物ですな。

なんだかんだ言って、個人的にかなり面白くよい山行であった。だが、次はもっとポピュラーなルートで計画を立てようかな、と思った。



登り始めの道。



色づいていた木々。



山頂まであと少し。



蛙ヶ丸山頂にて。



屏風岩山山頂。



大きさを比較してみよう。



ロープが張られた所。



権現山山頂。



この後道に迷うのである。